

公益社団法人
川口市シルバー人材センター
第4次中期基本計画

(令和5年度 ~ 令和9年度)



令和5年3月

公益社団法人 川口市シルバー人材センター

【目 次】

はじめに	1
第1章 第4次中期基本計画策定にあたって	2
1 これまでの経緯	2
2 基本計画策定の趣旨	2
3 計画のスローガン	2
4 基本計画の期間	2
第2章 シルバー人材センターを取り巻く環境	3
第3章 川口市シルバー人材センターの現況	4
1 会員について	4
(1) 会員数の推移	4
(2) 年齢別会員構成	5
(3) 会員の平均年齢の推移	5
(4) 会員アンケート調査結果	6
2 就業状況について	12
(1) 就業者数の推移	12
(2) 契約実績の推移	14
(3) お客様アンケート調査結果	17
第4章 基本計画の枠組み	22
1 目標指標	22
2 取り組みの柱	23
第5章 基本計画の目標指標達成に向けた取り組み	24
1 認知度の向上	24
2 会員の増強	25
3 就業機会の拡大	27
4 安全就業の徹底	29
5 適正就業の推進	31
6 ボランティア活動の推進	32
7 組織の強化	34
8 財政基盤の安定	36
参考資料	38

はじめに



川口市シルバー人材センターは、昭和56年10月1日の設立以来、41年が経過いたしました。これまでに1万人超の方々が会員登録をされて、ご活躍いただき、親切、丁寧な仕事ぶりが市民の皆様にも評価されてまいりました。

会員の皆様には、心から感謝と敬意を表します。

今般、企業等における、「再雇用制度」や「勤務延長制度」などの継続雇用制度の導入が進むとともに、新型コロナウイルスの流行などにより、社会環境や日常生活が大きく変化しており、センターを取り巻く環境は、大変厳しく、先行きが不透明な状況となっています。

このような状況だからこそ、5年後の当センターの「あるべき姿」を明確にして、その道しるべを示すことが大切であります。

こうした中で、第4次中期基本計画の策定にあたりましては、第3次中期基本計画の検証・評価を行うとともに、会員及び発注者を対象にアンケート調査を実施し、センターへの期待値の把握に努めた上で、年度ごとに目標指標を設定いたしました。

本基本計画実現に向け、会員及び役職員が問題意識を共有し、異体同心で取り組んでまいります。

また、シルバー人材センターの社会的責任は、高齢期における生活の軸足が地域社会に定着できる環境をつくることにありますので、高齢者の社会的孤立を防ぎ、安全・安心かつ豊かに暮らせる社会の実現を目指してまいります。

結びに、本基本計画の策定にあたり貴重なご意見を賜るなど、多大なご尽力をいただきました基本計画策定等委員会の委員の皆様並びに発注者をはじめ関係者の皆様にも心より感謝申し上げますとともに、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

公益社団法人 川口市シルバー人材センター

理事長 大久保 光 人

第1章 第4次中期基本計画策定にあたって

1 これまでの経緯

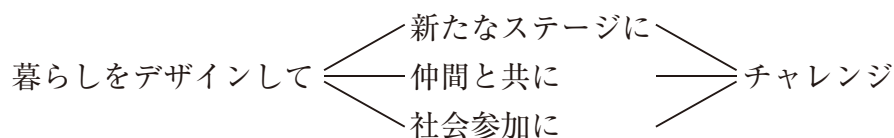
第3次中期基本計画（平成30年度～令和4年度）では、就業はもとよりボランティア活動やサークル活動などに積極的に参加できる環境づくりに努め、センターの魅力を実感できるよう取り組んできた。しかしながら、令和2年1月15日に日本国内で新型コロナウイルス感染症が確認されてから、瞬く間に感染が拡大して、私達の生活様式は変革を余儀なくされた。マスクの着用、手指消毒はもとより、3密（密集、密接、密閉）を回避した行動制限が求められ、事業展開が停滞した感は否めない。今後においても感染状況を見極めながら、柔軟に対応していかなければならない。

2 基本計画策定の趣旨

人生100年時代といわれる超高齢社会が本格化している中、エイジレスに働ける社会の実現に向けた環境整備が急がれている。

当センターでは、シニア世代における「生きがい」、「健康維持」、「社会参加」に加えて、「経済的」動機を持つ人々が将来にわたって、地域社会で活躍できるよう、今後5年間の第4次中期基本計画（令和5年度から令和9年度）を策定した。基本計画では、目標指標を掲げて、その実現に向けた取り組みを定めて、効率的かつ効果的に推進して目標指標の達成を目指していく。

3 計画のスローガン



4 基本計画の期間

第4次中期基本計画の計画期間は、令和5年度から令和9年度の5カ年計画とする。ただし、社会情勢などを勘案して適宜ローリングを行うこととする。

第2章 シルバー人材センターを取り巻く環境

少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中で、経済社会の活力を維持するため、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高齢者が活躍できる環境の整備を目的として、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正された。この改正により、企業においては、「70歳までの定年の引上げ」、「70歳までの継続雇用制度の導入」、「定年の廃止」などの努力義務が設けられた。

このことにより、シルバー人材センターでは、70歳以下の入会者は今後減少し、それに伴い会員の平均年齢が上昇することによって、技能の伝承や健康管理を含めた体力面など、センターにおける就業やその他の活動に影響が出てくる懸念される。

現在のシニア世代は、これまでの高齢者像より「健康で心身機能が衰えていない」、「インターネットの活用に慣れている」、「趣味や旅行への関心が高い」など意欲的で活動的だといわれている。一方では、高齢期になると個々の就業意欲や体力に差が出てくる上、家族の状況なども影響を及ぼすこととなり、一人ひとりの生活環境に寄り添ったサポートが求められる。

ウィズコロナ時代と言われている中、シルバー人材センターが求められている社会的役割は、特に外出の機会が減少しているシニア世代の社会的孤立を防ぎ、日常生活で積極的に役割を担い、生きがいを持てるような社会にすることである。

新型コロナウイルス感染拡大により、働き方をはじめ、人付き合い・コミュニケーション、健康・運動等に大きな変化があった。このように新しい生活様式が定着する中で、ライフスタイルの多様化を尊重しつつ、ひとりでも多くの高齢者が、自らの経験、知識、技能を活かして、人材不足の悩みを抱える企業等への支援や家庭での困りごとを解決できるような就業体制をつくるとともに、引き続き、ボランティア活動やクラブ活動を通して、仲間との充実した交流を図る機会を増やしていきたい。



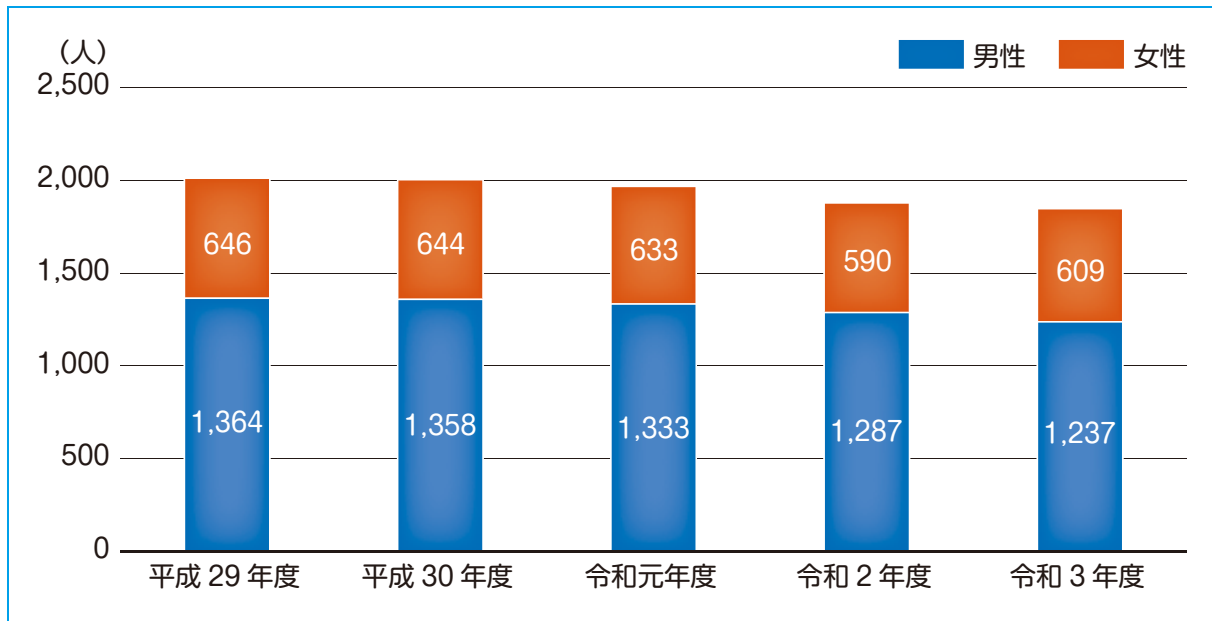
第3章 川口市シルバー人材センターの現況

1 会員について

(1) 会員数の推移

会員数は、直近5カ年では平成29年度の2,010人をピークに減少傾向にある。男女の比率は、5年間平均で男性67.8%、女性32.2%となっている。(図表3-1)

図表 3-1 会員数の推移



市役所庁舎内デジタルサイネージ



本部事務所 2 階廊下

(2) 年齢別会員構成

80歳以上の会員数が5年前と比較して2.4倍に増加するとともに、会員に占める割合も11.2ポイント増加した。

会員構成のうち75歳以上の会員が、約半数を占めることとなった。(図表3-2)

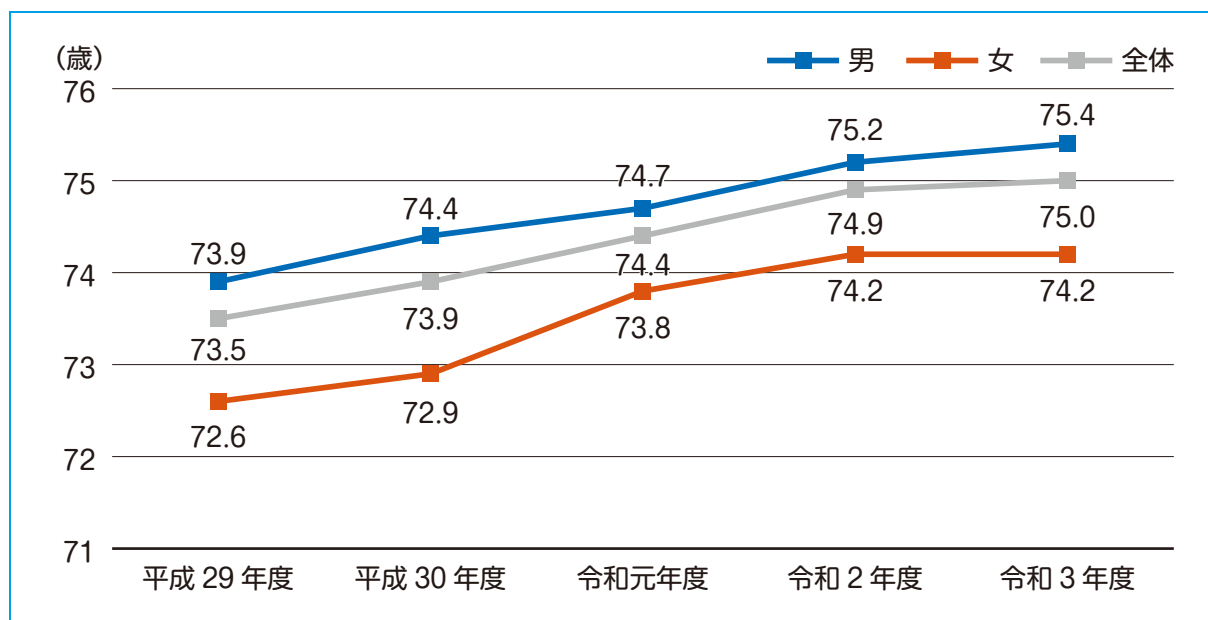
図表 3-2 年齢別会員構成

年 度	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上
令和3年度	65人	222人	653人	584人	322人
	3.5%	12.0%	35.4%	31.6%	17.5%
令和2年度	49人	226人	696人	629人	277人
	2.6%	12.0%	37.1%	33.5%	14.8%
令和元年度	57人	373人	702人	672人	198人
	2.8%	18.6%	35.1%	33.6%	9.9%
平成30年度	58人	448人	725人	611人	168人
	2.9%	22.3%	36.1%	30.4%	8.3%
平成29年度	65人	555人	810人	542人	133人
	3.1%	26.4%	38.5%	25.7%	6.3%

(3) 会員の平均年齢の推移

毎年度、男女ともに平均年齢が高くなってきており、全体では5年間で1.5歳上昇している。(図表3-3)

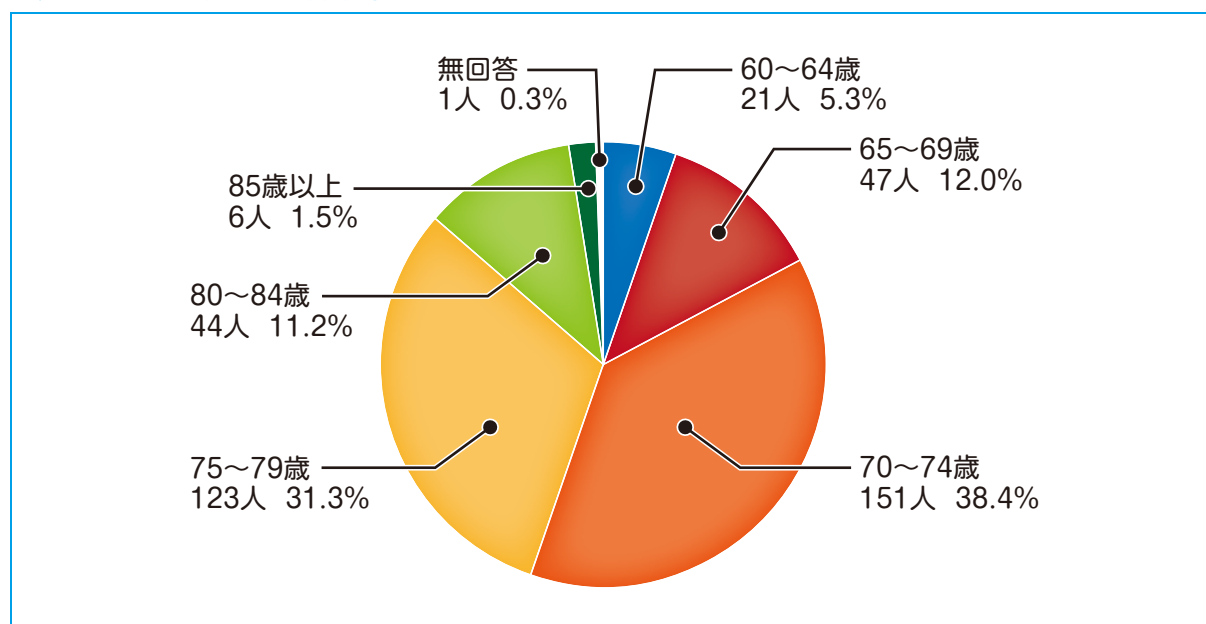
図表 3-3 会員の平均年齢の推移



(4) 会員アンケート調査結果

センター設立 40 周年記念事業の一環として、令和 4 年 3 月に郵送による全数調査の方式を採用して会員アンケート調査を実施した。1,860 人を対象に行ったところ、393 人（回答率 21.1%）から回答を得た。センターに登録している会員の年齢構成比とアンケートの回答者の年齢構成比が類似していることから、調査結果は、当センターの特徴をほぼ反映しているといえる。（図表 3-4）

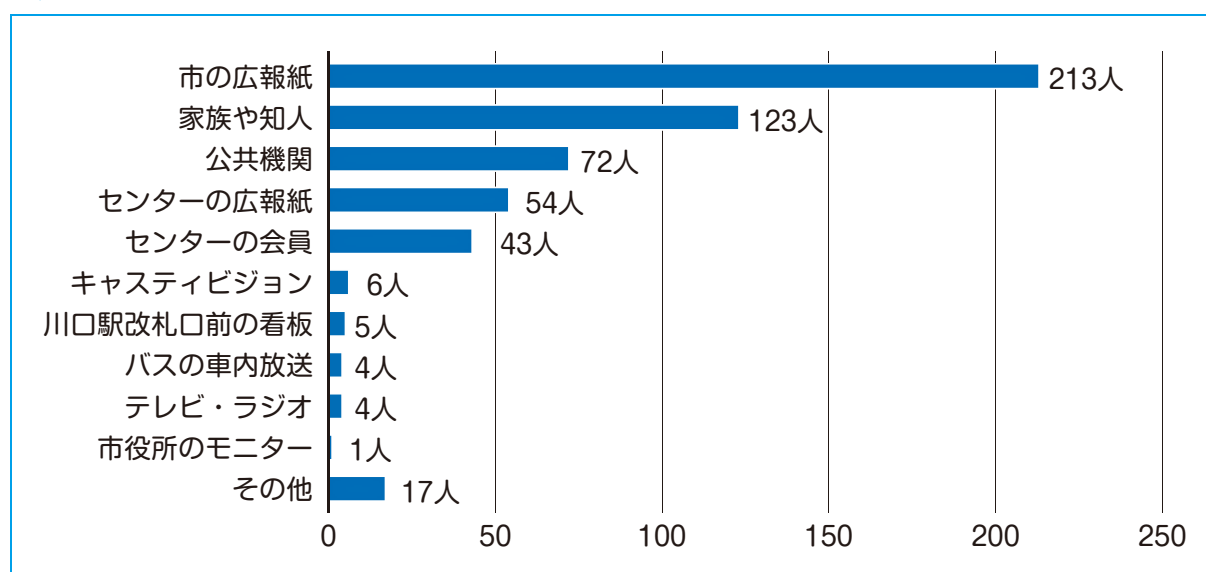
図表 3-4 アンケート回答年齢



ア センターを知ったきっかけ（複数回答可）

会員募集における最も有効な広告方法は、市の広報紙という結果となった。次点で、家族や知人であることから、高齢者を対象とした広告のほか、幅広い年齢層に向けた広告も有効であるといえる。（図表 3-5）

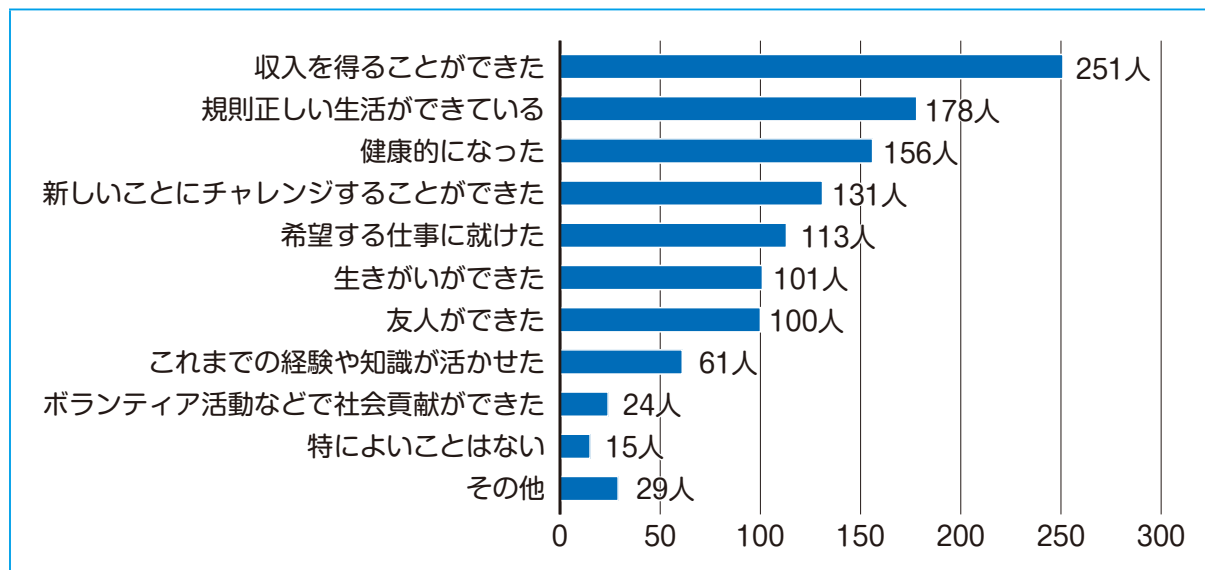
図表 3-5 センターを知ったきっかけ



イ センターに入会してよかったこと（複数回答可）

複数の項目を選択する回答者が多く、また回答結果から、生きがい、社会参加、健康維持を実感してもらえていることが再認識できた。さらに、センターにおける就業は、会員にとって経済面でも貢献していることがわかった。（図表 3-6）

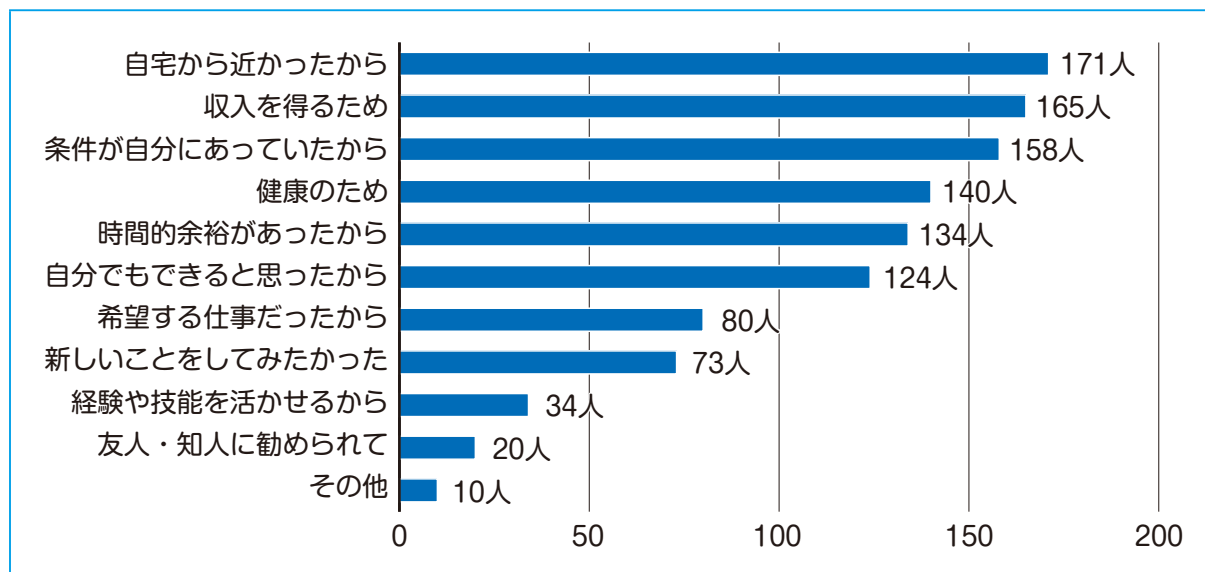
図表 3-6 センターに入会してよかったこと



ウ 仕事を決めたきっかけ（複数回答可）

地域社会からセンターへ求められていることと、会員が希望する仕事とのギャップは若干あるが、就業している会員の多くは、前向きな気持ちで仕事に取り組んでいることがわかった。（図表 3-7）

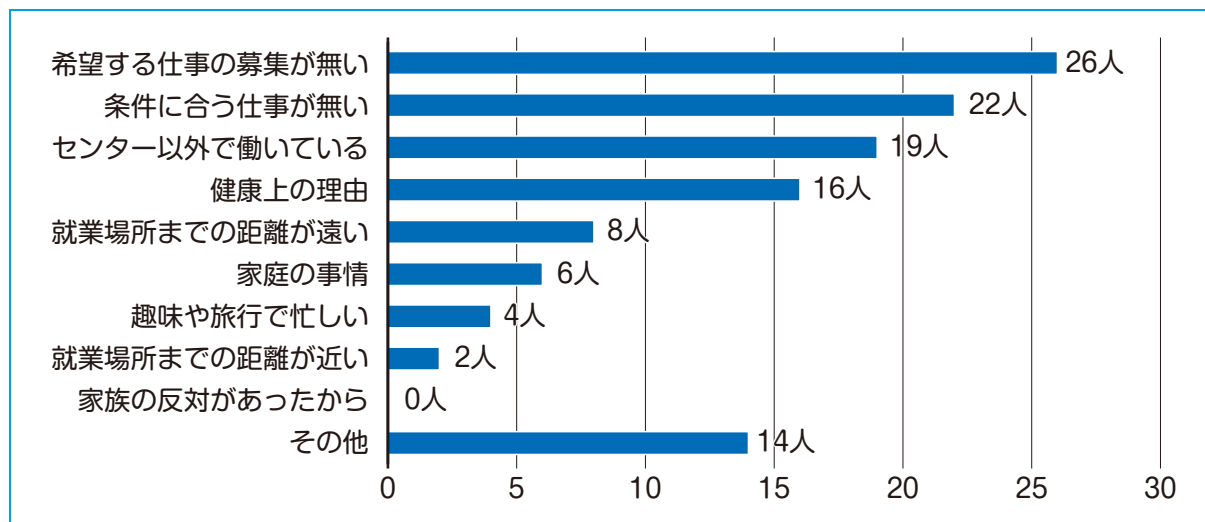
図表 3-7 仕事を決めたきっかけ



エ 仕事をしていない理由（複数回答可）

発注者と会員のマッチング体制の向上に努めなければならない。そのためには、最新の情報をセンターで把握している必要がある。（図表 3-8）

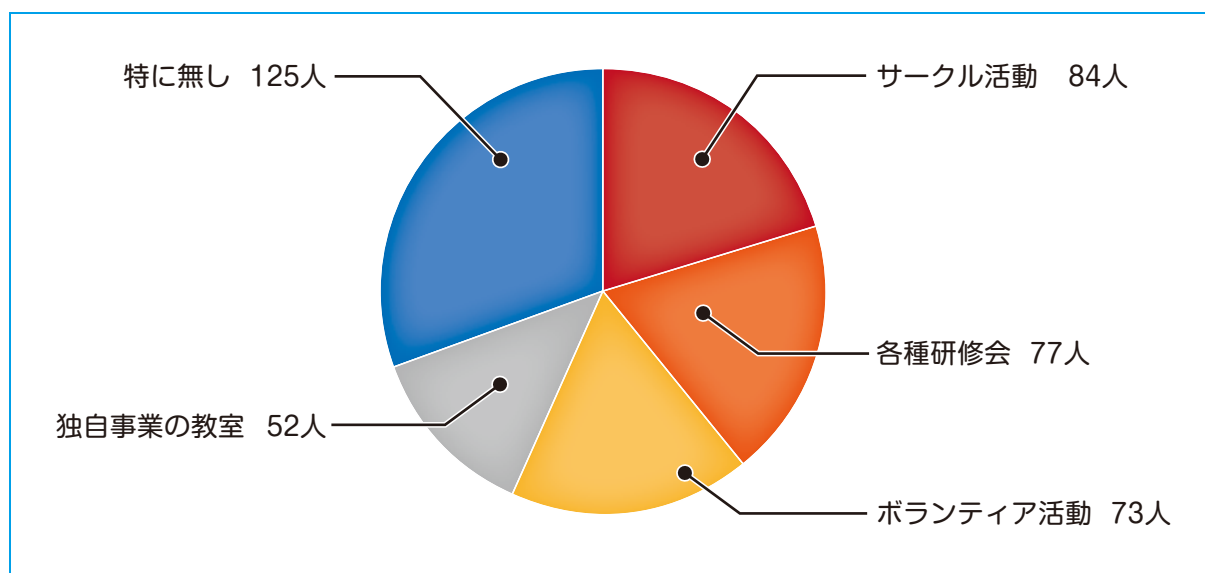
図表 3-8 仕事をしていない理由



オ センターにおける仕事以外の興味のある活動（複数回答可）

仕事以外にも興味のある活動がある会員が約7割存在するので、引き続き、サークル活動を筆頭に様々な活動の提案をしていきたい。（図表 3-9）

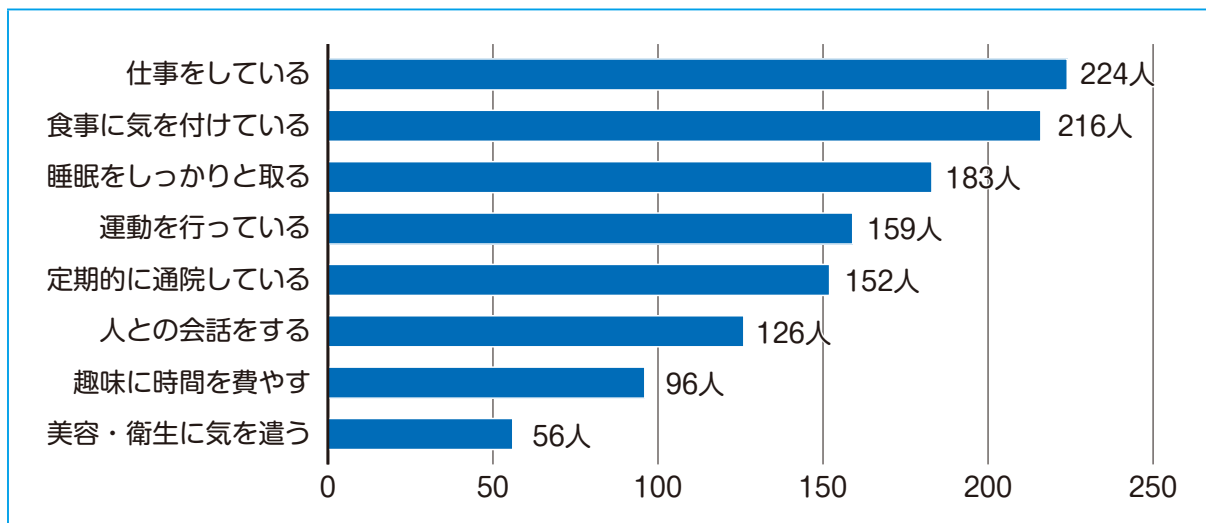
図表 3-9 興味のある活動



カ 健康維持の秘訣（複数回答可）

しっかり食事を摂り、規則正しい生活を心掛けている会員が多いことがわかった。また、ウォーキングなどの運動のほか、趣味を持っていて、心身のバランスが保たれていることが推察できる。（図表 3-10）

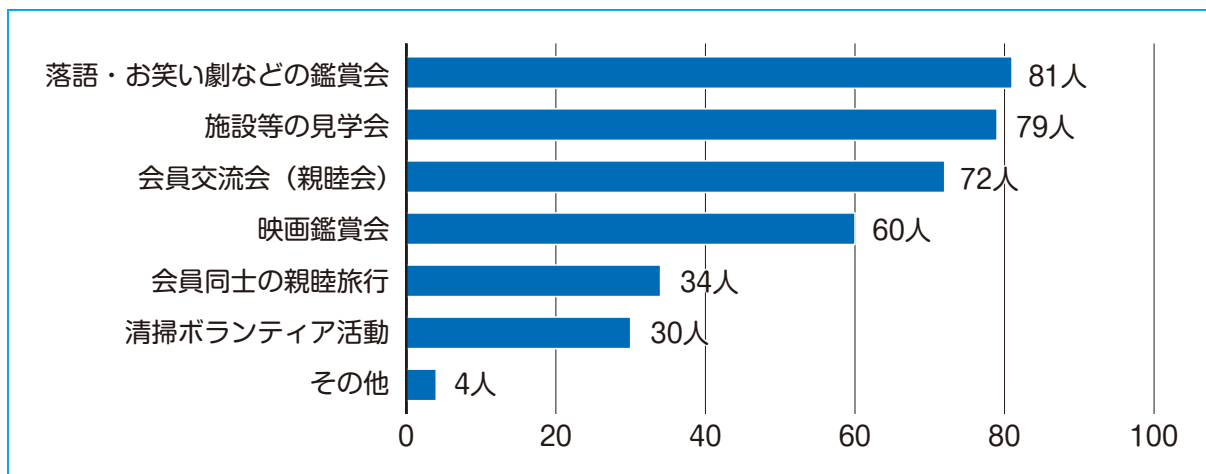
図表 3-10 健康維持の秘訣



キ センターに実施してほしいイベント事業（複数回答可）

落語などの鑑賞会、施設等の見学会、会員交流会を希望する会員が多いことがわかったので、イベント事業の企画の際に活用していきたい。（図表 3-11）

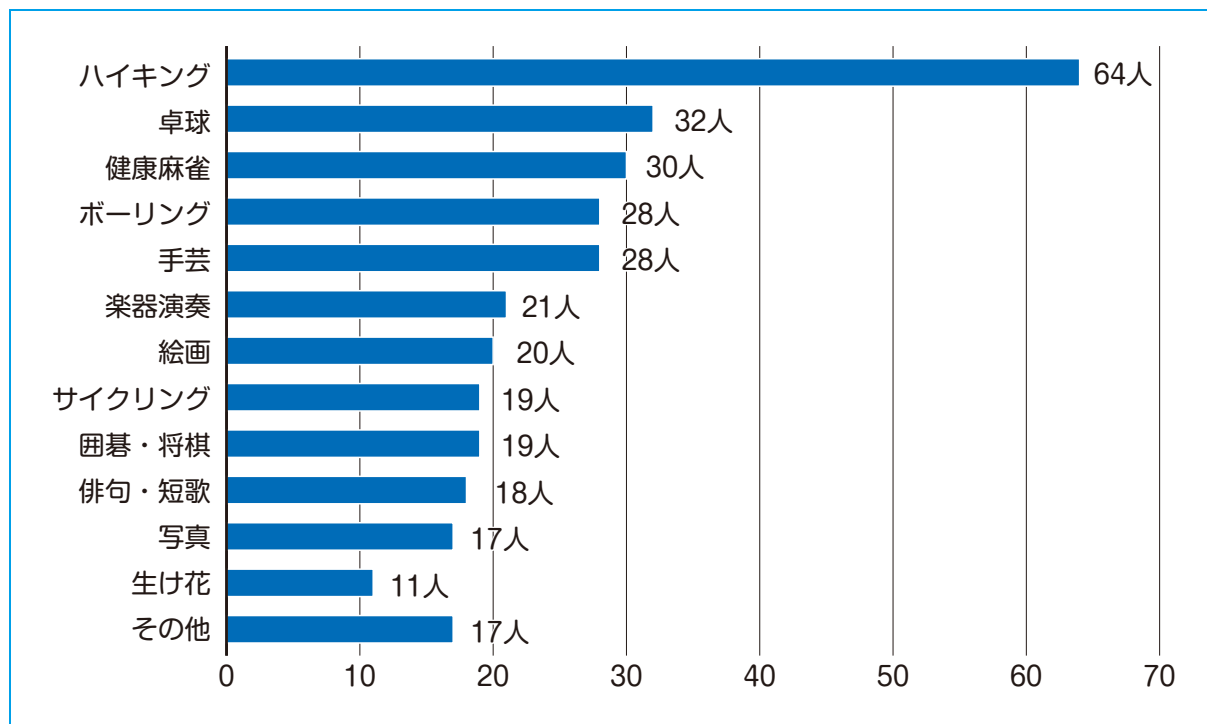
図表 3-11 実施してほしいイベントの事業



ク センターに実施してほしいサークル活動（複数回答可）

ハイキングサークルを希望する会員が多かったので、新たなサークル活動としての立ち上げについて検討していきたい。（図表 3-12）

図表 3-12 実施してほしいサークル活動



ケ センターに対して期待していること【要約】

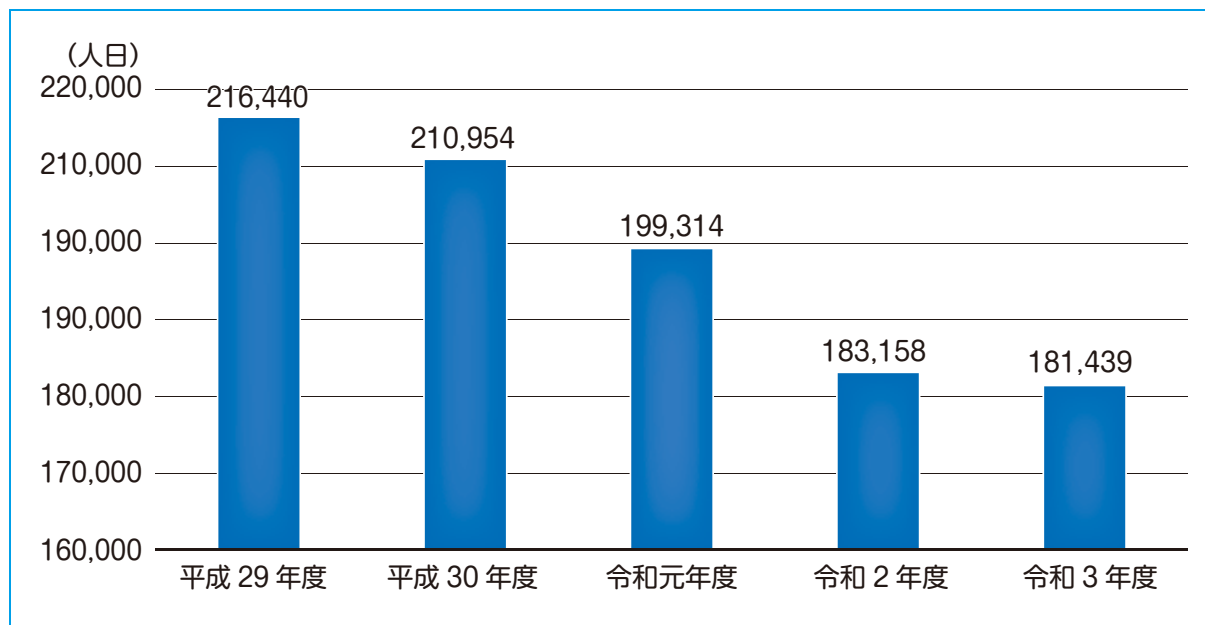
- ・ 定期的に会員同士の交流会を設定してほしい。
- ・ 高齢者に合った仕事の種類を増やしてほしい。
- ・ 時間単価のアップを希望する。
- ・ 研修会を定期的に開催してほしい。
- ・ センターの必要性をもっと企業に伝えてほしい。
- ・ 作業者へのフォローをこれからもお願いしたい。
- ・ 新たな独自事業の創出を希望する。
- ・ メールや Web での情報提供をお願いしたい。
- ・ 女性会員の拡大や活躍の機会を増やしてもらいたい。
- ・ 期間限定でもよいので、拠点を各地区に作ってもらいたい。
- ・ 市内の工場や施設の見学会を希望する。
- ・ 期待することはない。
- ・ センターまでの距離が遠いので活動に参加できない。
- ・ ハローワークとの連携を強化してほしい。
- ・ どのような求人があるのか情報が欲しい。
- ・ 仕事ができる事はうれしいので、たくさんのチャンスを与えてほしい。
- ・ センターの活動の見える化に努めてもらいたい。
- ・ センターは就業だけではなく、サークル活動なども強調してもらいたい。
- ・ ボランティア活動を実施して地域にセンターを知ってもらうことを期待する。
- ・ 高齢者の健康維持のため、市の長寿支援課と連携した事業があっても良いのではないかと。
- ・ 会員の悩みの相談に乗ってほしい
- ・ センターを通じて有意義に時間を使うことができ、充実した日々を送っている。
- ・ 紹介先から必要とされるよう努力を継続していきたい。
- ・ 新たに仲間づくりをしてみたいと考えている。
- ・ 会員同士で仲良くするのは賛成だが、友達を作ることまでは言いすぎだと思う。
- ・ ボランティア活動を実施して地域社会にセンターを PR することを期待する。

2 就業状況について

(1) 就業者数の推移

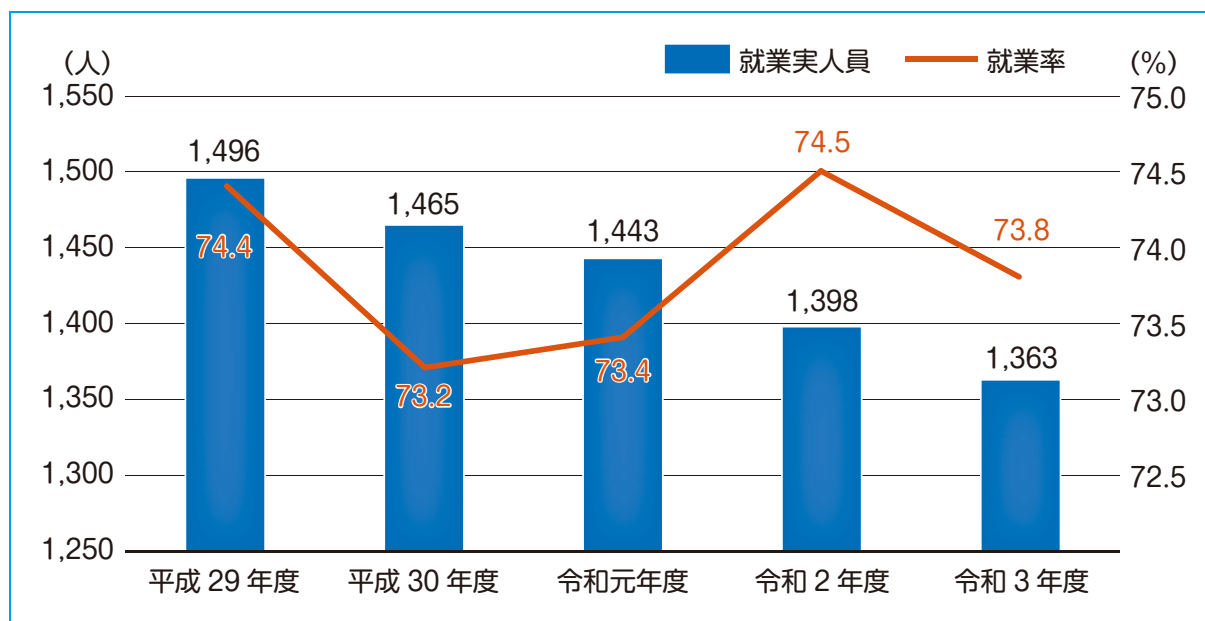
請負・委任契約の就業延人員は、特に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度からの減少が顕著になっている。(図表 3-13)

図表 3-13 就業延人員



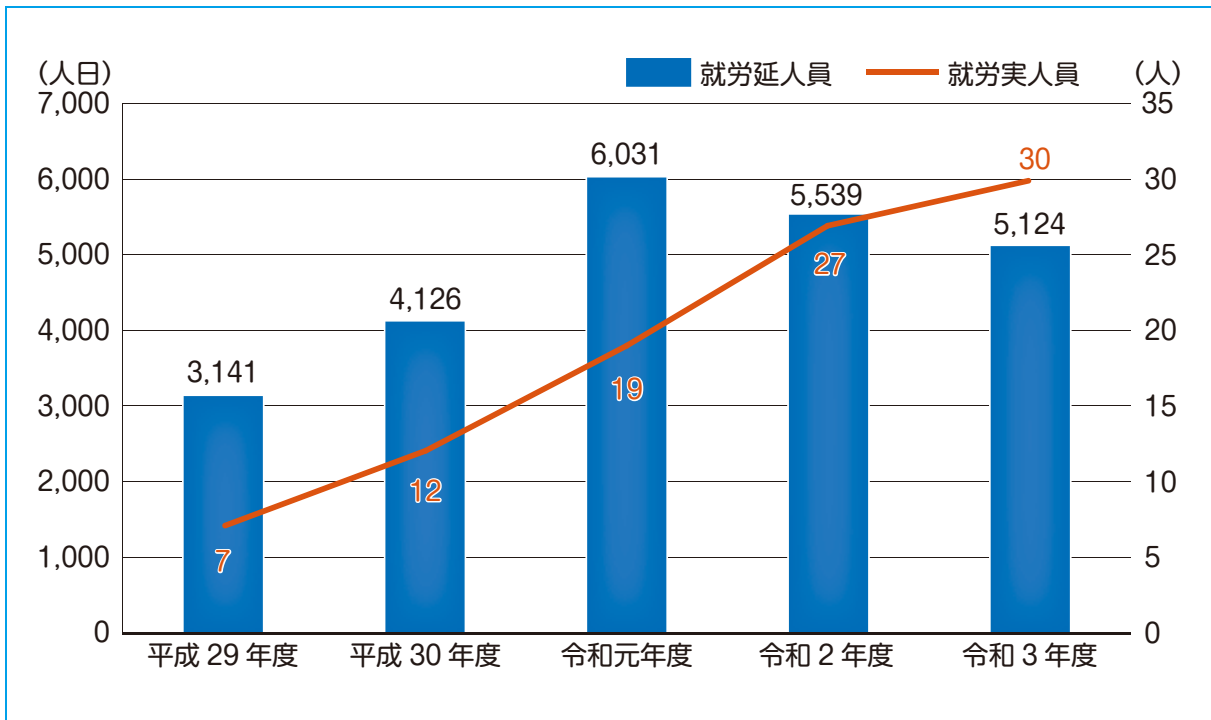
請負・委任契約の就業実人員は、上記の就業延人員と同様、令和2年度から著しく低下してきているが、就業率については、73%から74%台で推移している。(図表 3-14)

図表 3-14 就業実人員と就業率



労働者派遣事業における就労延人員は、令和元年度をピークに減少している。一方、就労実人員は、微増となっている。(図表 3-15)

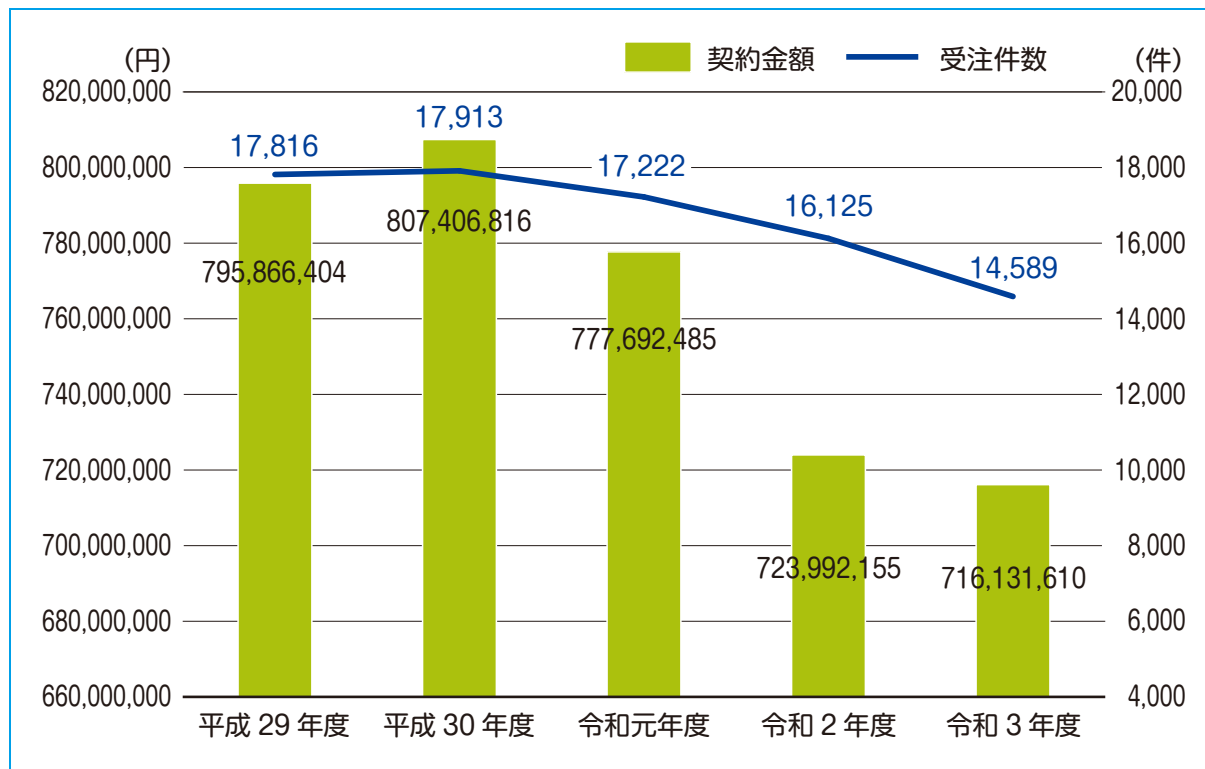
図表 3-15 派遣事業における就労延人員と実人員



(2) 契約実績の推移

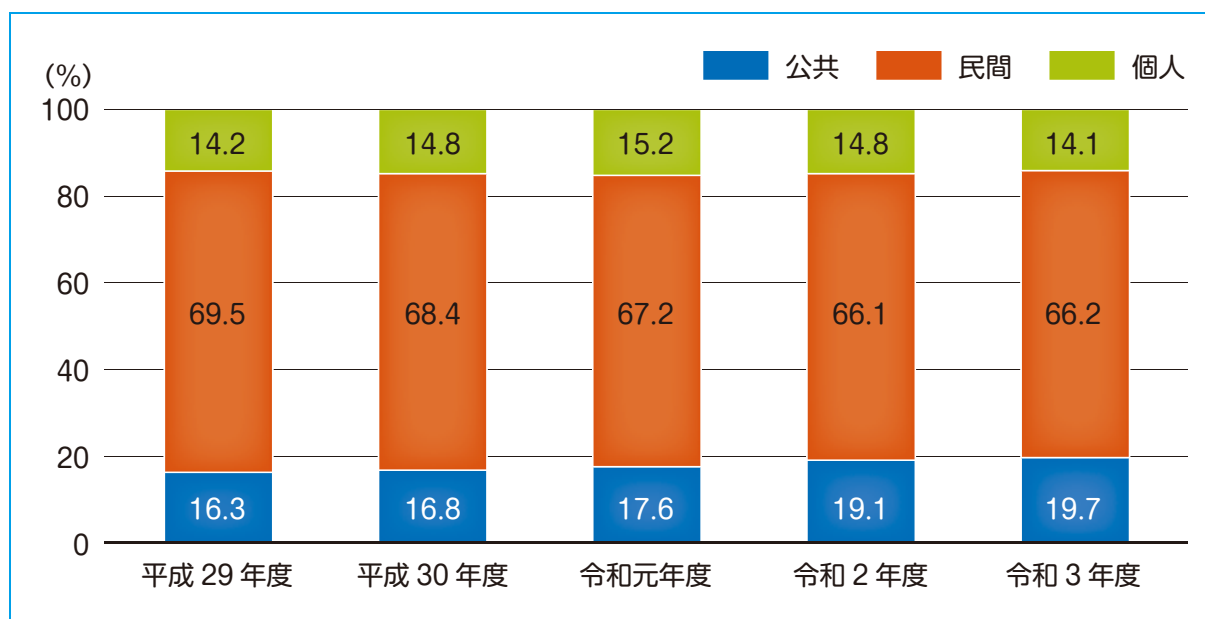
請負・委任契約における受注件数及び契約金額は、直近5カ年では、平成30年度がピークであった。新型コロナウイルス感染症の出現により、令和2年度からの実績は落ち込んでいる。(図表3-16)

図表 3-16 契約金額と受注件数



公共、民間、個人における契約金額の割合の推移をみると、5年前と比較して公共と民間との間で約3ポイントの増減があった。(図表3-17)

図表 3-17 発注先別契約金額の割合



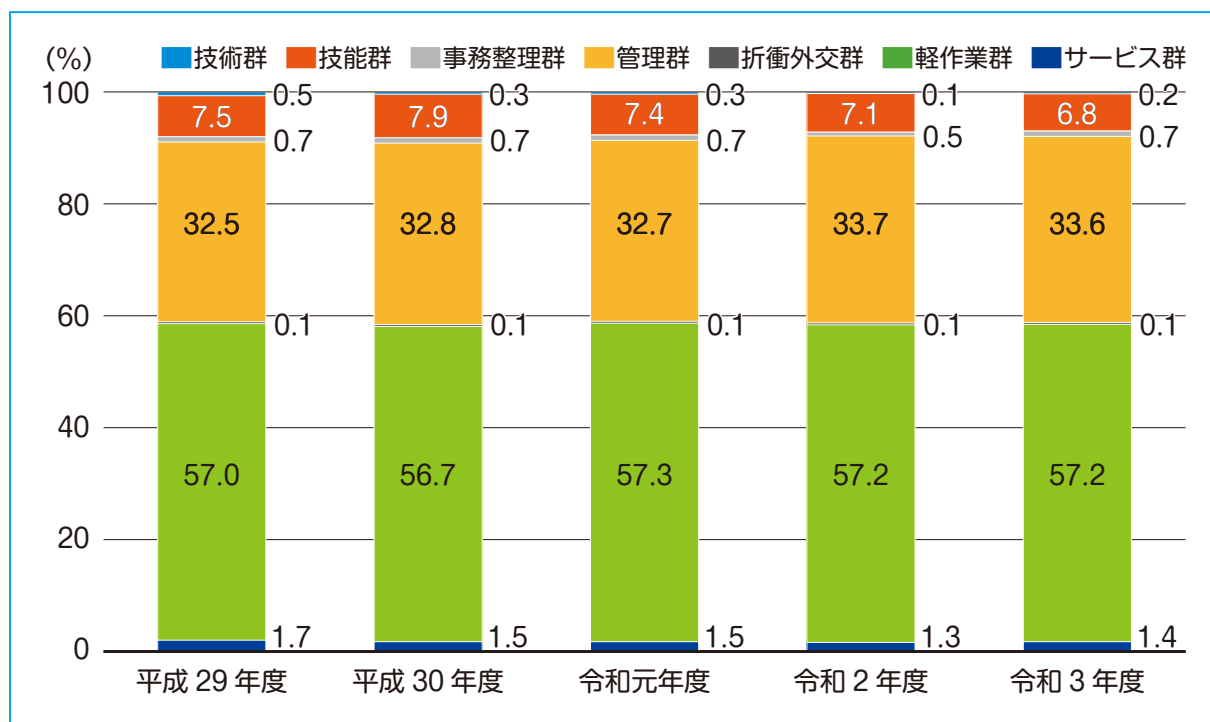
職群別の構成比では、特に技能群が減少している。豊張替作業の受注停止に加えて大工工事や植木剪定に従事する会員の人員不足と高齢化、さらに新型コロナウイルスの影響により個人からの受注の減少が原因と考えられる。(図表 3-18、19)

図表 3-18 職群別契約金額実績

(単位：円)

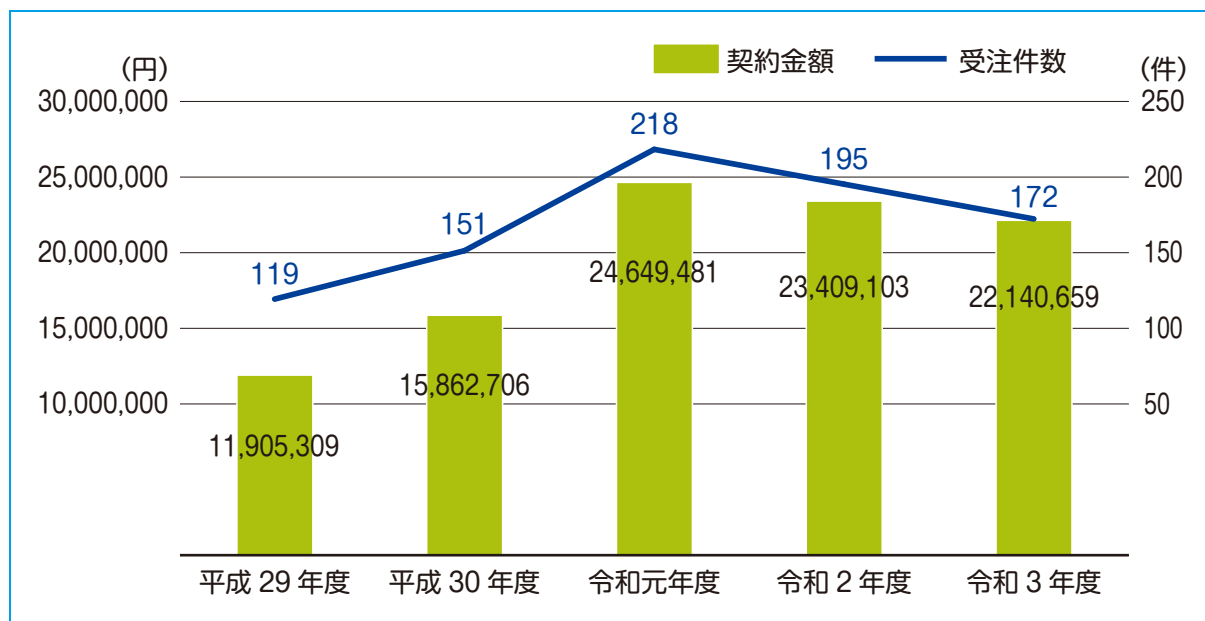
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
技術群	3,637,791	2,658,138	2,402,525	809,965	1,265,722
技能群	59,688,180	63,461,071	57,564,706	51,525,719	48,779,169
事務整理群	5,362,381	5,676,535	5,878,663	3,866,355	5,025,479
管理群	258,900,160	265,190,756	253,976,293	243,648,925	240,828,335
折衝外交群	730,248	607,805	658,371	694,980	681,912
軽作業群	453,574,873	457,402,145	445,802,361	414,048,716	409,864,519
サービス群	13,972,771	12,410,366	11,409,566	9,397,495	9,686,474
合計	795,866,404	807,406,816	777,692,485	723,992,155	716,131,610

図表 3-19 職群別契約金額の割合



労働者派遣事業は、請負・委任契約による事業実績と比較して、減少は緩やかである。
(図表 3-20)

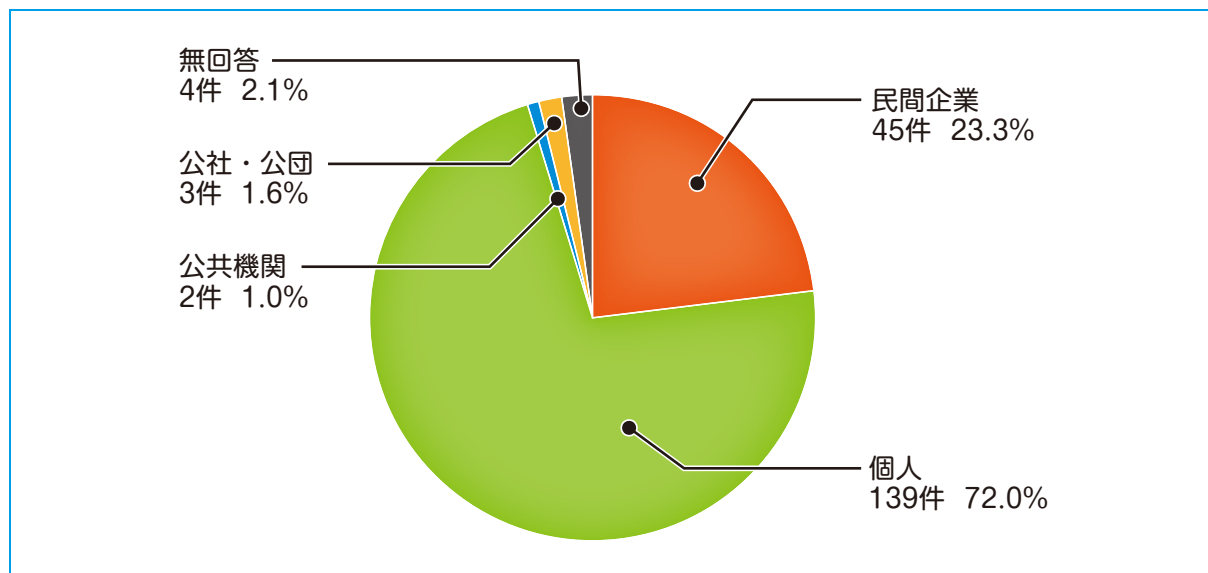
図表 3-20 契約金額と受注件数



(3) お客様アンケート調査結果

令和3年度における受注件数の実績構成比は、民間52.5%、個人44.1%、公共3.4%であった。今回のアンケート調査の回答数の構成比は、個人72.0%、民間24.9%、公共1.0%、無回答2.1%であることから、個人を対象とした傾向が大きく反映された調査結果となった。(図表3-21)

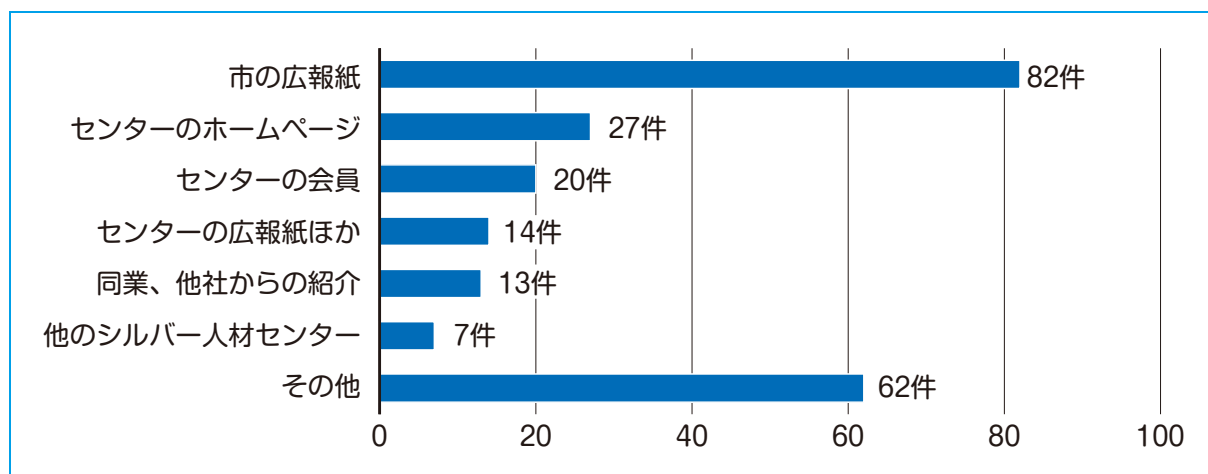
図表 3-21 アンケート回答区分



ア センターを知ったきっかけ (複数回答可)

市の広報紙、センターのホームページ及び会員による回答数が129件を占めていることから、これまでの取り組みが一定の成果を上げているといえる。(図表3-22)

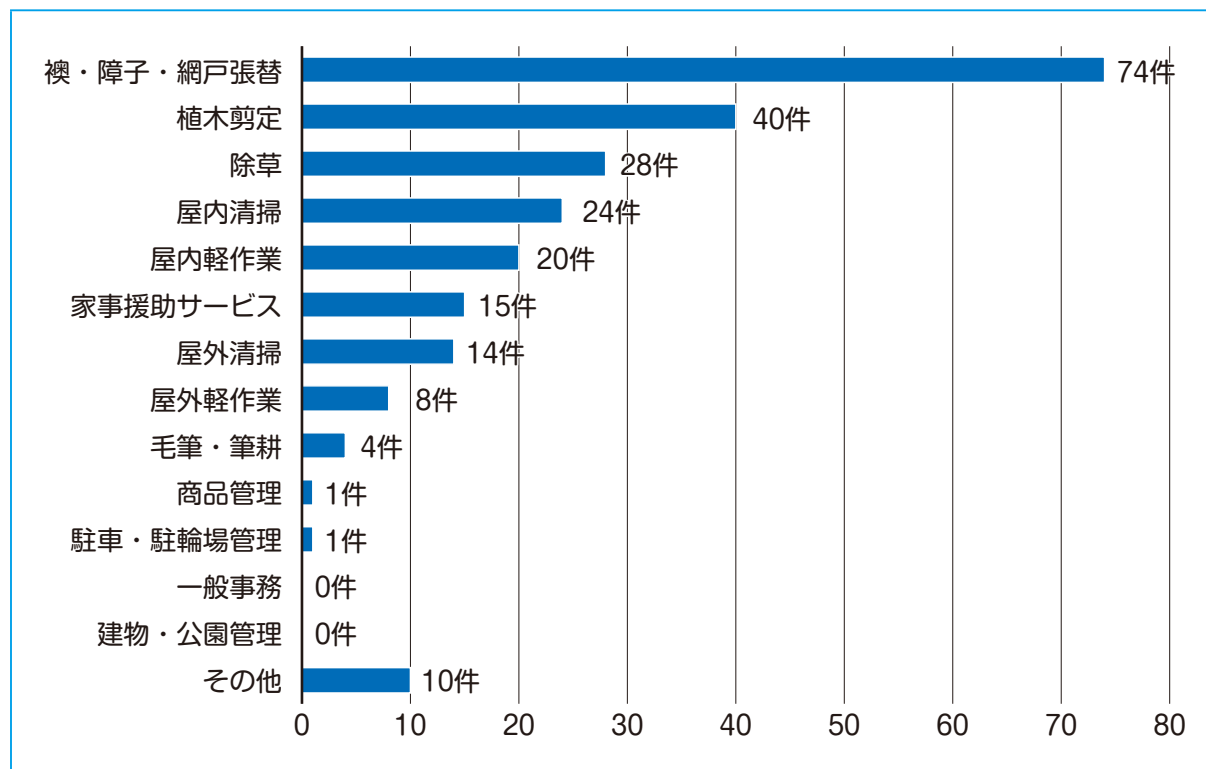
図表 3-22 センターを知ったきっかけ



イ センターに発注している又はしたことがある職種（複数回答可）

個人からの回答件数が多かったことから襖・障子・網戸張替、植木剪定、除草などの職種の占める割合が高くなった。（図表 3-23）

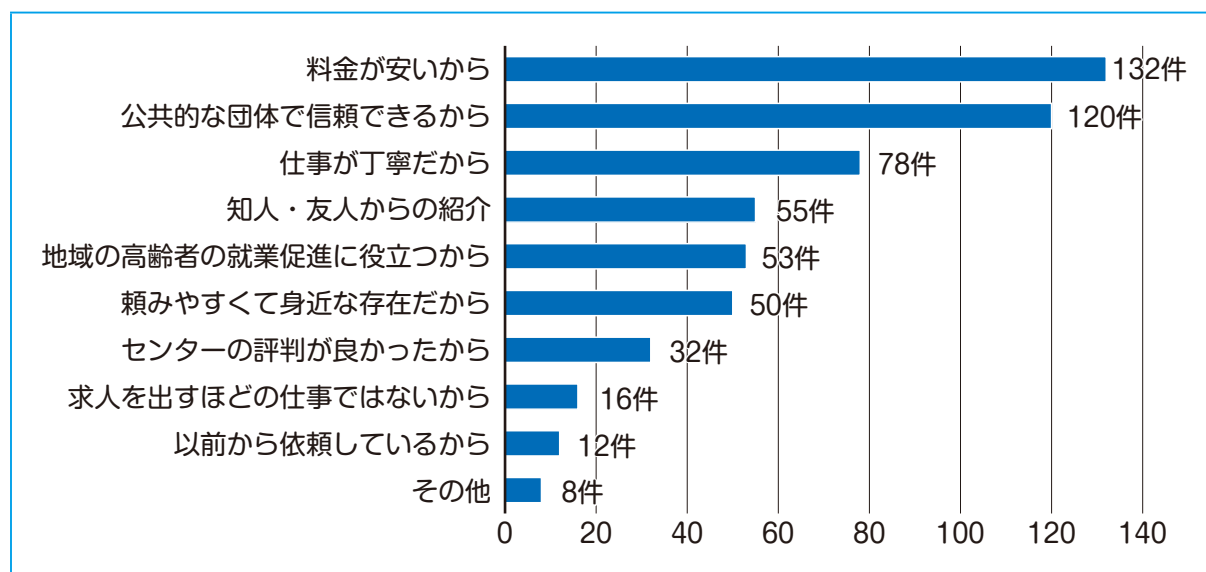
図表 3-23 発注している職種



ウ センターを利用した理由（複数回答可）

センターの事業が地域社会に理解されているとともに、会員の仕事ぶりが評価されていることが推察できる。（図表 3-24）

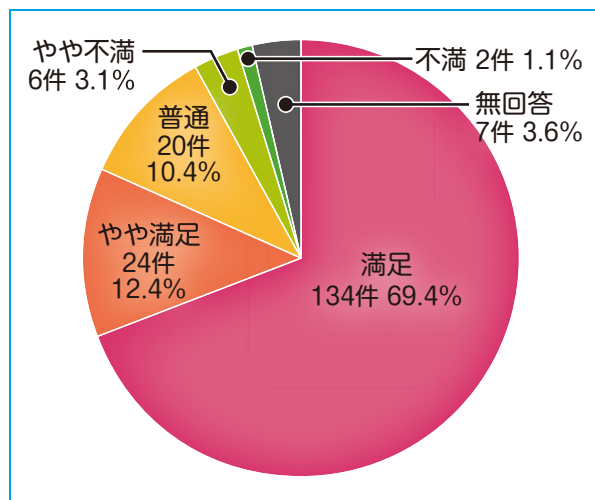
図表 3-24 センターをご利用になった理由



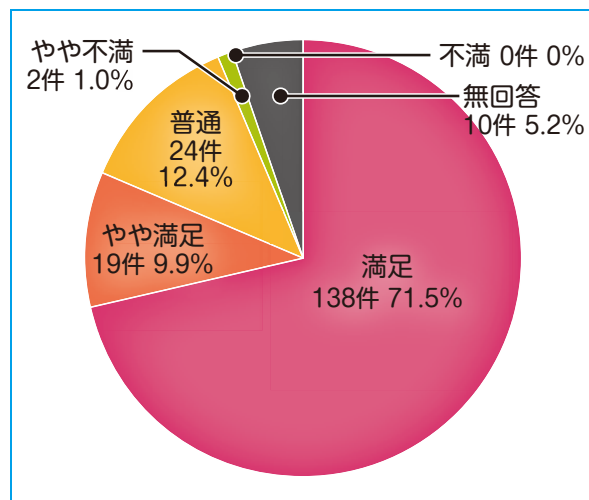
エ センターを利用しての満足度

すべての質問項目における「満足」「やや満足」「普通」の平均値は91.4%であった。
 (図表 3-25、26、27、28、29、30)

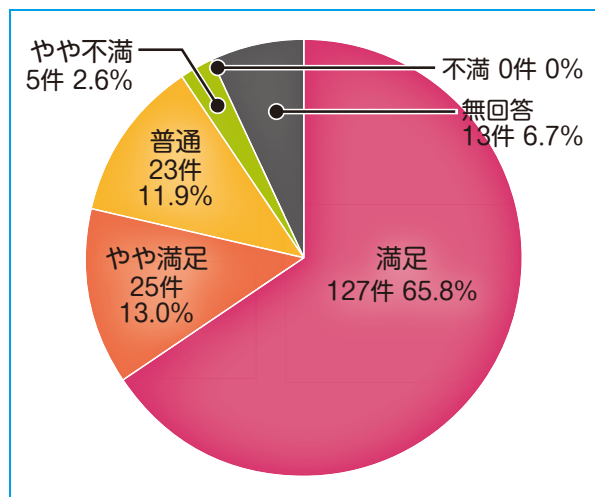
図表 3-25 仕事の出来栄



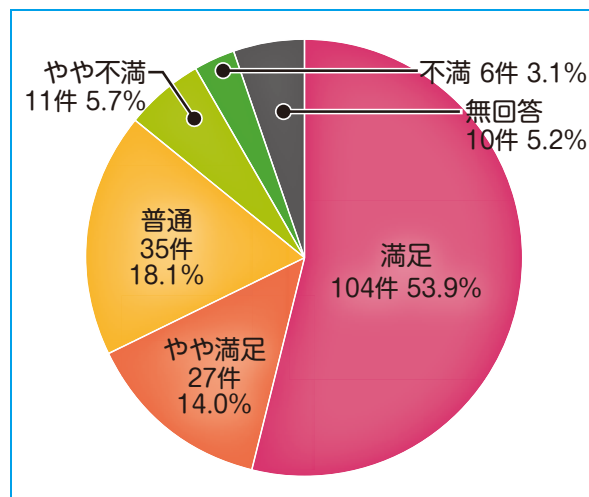
図表 3-26 会員の対応



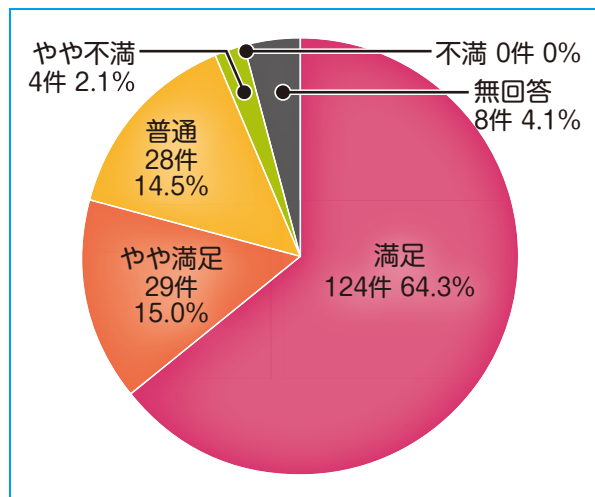
図表 3-27 仕事の早さ



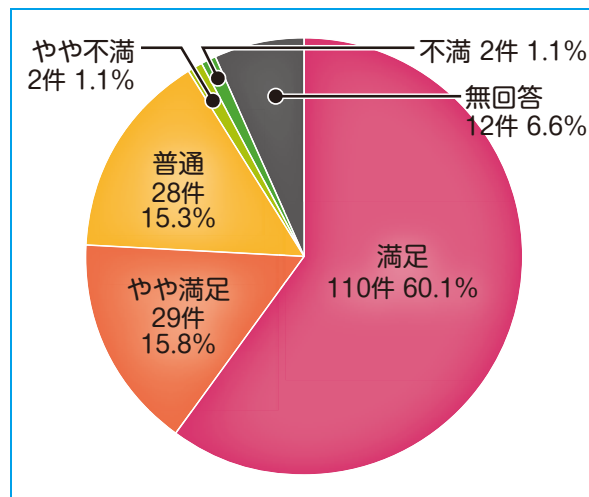
図表 3-28 注文から作業にかかるまでの期間



図表 3-29 作業料金



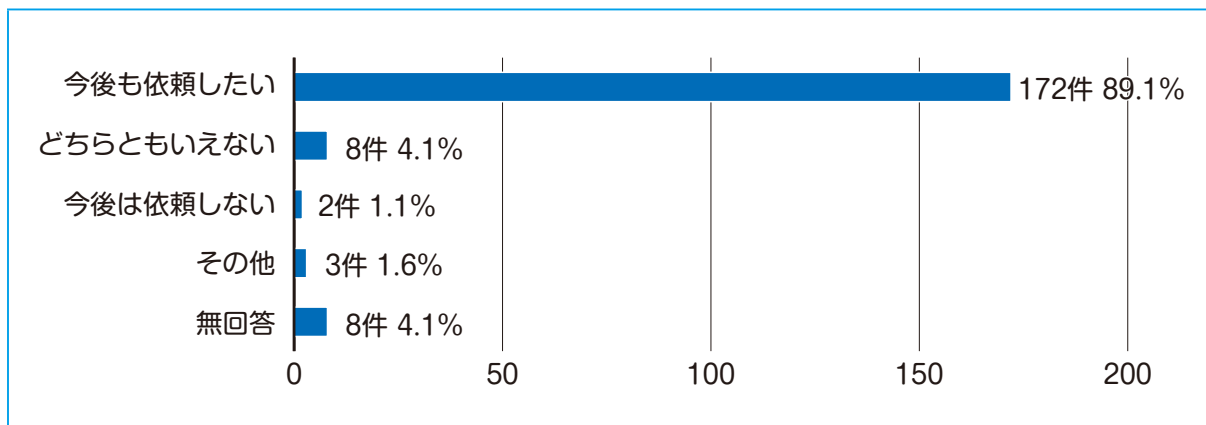
図表 3-30 事務局の対応



オ センターへの今後の依頼

約9割の方が、今後もセンターへ依頼したいとの回答であった。依頼しない方は、「作業が終わったばかりなので現時点で頼む仕事がない」、「川口市外へ転居する」といった理由であった。(図表 3-31)

図表 3-31 センターへの今後の依頼



カ センターへのご意見、ご要望

- ・ 定年過ぎに働くところがあることは良いことだと思います。
- ・ 素早く対応していただきありがとうございます。
- ・ 勇気を出して依頼の相談をしてよかった。担当者を探してくれた方もとても親切で想像以上に迅速に手配してくれてありがとうございます。
- ・ 継続して運営してください。
- ・ 高齢者にとってはなくてはならない人材センターです。なくなったら非常に困ります。ありがたい存在だと思います。
- ・ 職種を増やしてほしいです。ガラス修理、建具修理、クロス張替え、畳張替えなど。
- ・ 職人の高齢化と建築への希望者減少が予想されます。退職者への仕事確保と環境美化のため、より拡大されることを期待します。
- ・ シルバーの方でも若い頃真面目に働いて手に職を持った方が来てくれるのでとても良いと思います。
- ・ 高齢者の方の経験や技術を生かせるシルバー人材センターは素晴らしい。あなた達は、今の日本を築いていらっしゃる方々ですので、宝です。長生きしてください。また、シルバー人材センターを利用したいと思います。
- ・ 設立 40 周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。
- ・ 単身高齢者にはニーズがあると思います。市の広報紙で作業内容を周知すると利用しやすいと思います。
- ・ 可能な仕事、種類、金額などもっと知りやすくなるとよいです。

- ・ 料金の支払いが振込みなのであまりやったことがないので面倒でした。コンビニで支払うことができたらいいと思いました。
- ・ 支払方法で振込み手数料が高いです。鳩ヶ谷庁舎で払えるようにしてほしいです。
- ・ 23階に住んでいます。ガラス磨きを依頼したいです。事務局は高齢者がやるので危険だと断りますが、周囲にベランダがあるので現場を見て判断していただければありがたいです。
- ・ マンションの部屋番号が会員に間違っていて伝わっていたため少し苦情がありました。事前確認で同じデータ情報を使用した方が良いのではないですか。
- ・ 障子・網戸の張替で依頼者が用意した材料で作業してもらえるとよいです。
- ・ 請書の印紙は不要ではないですか。ネットで進捗状況を含めて仕事の依頼ができるとういです。突然「明日行きます」は、やめてほしいです。
- ・ 注文してから時間がかかるので、早く注文に応じられるようにしてください。
- ・ お願いしたことに付随する小さなこともやってほしいです。
- ・ 植木剪定をお願いする人が多いのか、来てくれるまで日数がかかるようなので、早く来てもらいたいです。
- ・ 60歳代の人を増やしてほしいです。
- ・ 出来ればもう少し細かいところまで手をつけてもらいたいです。
- ・ 事務局の方の電話対応ですが、担当者によっては、やや上から目線の方もいるので、いやな気持ちになったことが何度かありましたので、電話対応のマナー研修を徹底されたら良いのではないですか。



第4章 基本計画の枠組み

1 目標指標

(1) 会員数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
合計	1,875	1,900	1,930	1,975	2,020
男性	1,250	1,260	1,270	1,295	1,320
女性	625	640	660	680	700

(2) 受注件数

ア 請負・委任契約

(単位：件)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
14,700	14,850	15,000	15,150	15,300

イ 労働者派遣契約

(単位：件)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
180	185	190	195	200

(3) 契約金額

ア 請負・委任契約

(単位：千円)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
730,454	737,758	745,135	752,586	760,111

イ 労働者派遣契約

(単位：千円)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
22,361	22,584	22,809	23,037	23,267

(4) 就業率

(単位：%)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
73.9	74.0	74.1	74.2	74.3

(5) 就業延人員

ア 請負・委任契約

(単位：人日)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
183,200	185,000	186,800	188,600	190,400

イ 労働者派遣契約

(単位：人日)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
5,150	5,200	5,250	5,300	5,350

2 取り組みの柱

- (1) 認知度の向上 ～センター事業の浸透とイメージアップ～ 広報委員会
- (2) 会員の増強 ～センターへの所属意識の醸成～ 会員増強委員会
- (3) 就業機会の拡大 ～新たな活躍の機会への挑戦～ 就業機会創出委員会
- (4) 安全就業の徹底 ～健康状態の把握と安全就業の定着～ 安全委員会
- (5) 適正就業の推進 ～ワークシェアリングと就業形態の多様化への対応～
適正就業推進委員会
- (6) ボランティア活動の推進 ～会員同士の交流を通して地域に貢献～ 地域活動委員会
- (7) 組織の強化 ～センターの基本理念の実践～ 委員会委員長合同会議
- (8) 財政基盤の安定 ～中長期的な視野に立った収支相償の達成～ 総務財政委員会

上記に掲げる取り組みの柱については、国際的な目標である※SDGs（持続可能な開発目標）を念頭に置きつつ、それぞれの委員会が主体となって取り組んでいく。

※ 2015年9月25日に国連総会で採択され、2030年までに達成すべき「17」の目標と「169」の達成基準が示され、世界的に共通している取り組み目標のこと。

当センターで取り組む目標及び達成基準は、以下のとおりとする。



人々を守るためのきちんとした仕組みづくりや対策を行う。
貧しい人や特に弱い立場の人たちが十分に守られるようにする。



心の健康への対策や福祉を進める。



すべての人が男女の区別なく、技術や職業に関する教育を受けられるようにする。



社会の中で何かを決めるとき女性も男性と同じように参加したり、リーダーになったりできるようにする。



すべての人の働く権利を守って、安全に安心して仕事ができる環境を進めていく。



すべての人が能力を高め、年齢、経済状態にかかわらず、社会的、経済的に取り残されないようにすすめる。



誰もが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高める。



差別のない法律や政策をすすめ実施する。

第5章 基本計画の目標指標達成に向けた取り組み

1 認知度の向上

～センター事業の浸透とイメージアップ～ 広報委員会

(1) 現状と課題

現在、入会説明会の際には、アンケートを実施してセンターのことをどのように知ったのかを調査している。その結果における費用対効果を検証して、適切なPR方法を継続していきたい。

これまで、広告媒体（市の広報誌や公共交通機関等）を重点的に活用して、センター事業のPRに努めてきた。ある程度の効果は実感できているが、センターのイメージアップを図るためには、会員がいきいきと働く姿や会員同士の交流を通しての仲間づくりをイメージすることができ、センターに入会してみたいという思いを抱いてもらう工夫が求められる。

「センターホームページ」のほか、「シルバーかわぐち」や「シルバー通信」についても更なる進化、工夫をしていかなければならない。

センターにおける活動のイメージアップを図るための新たな試みに取り組んでいきたい。

(2) 取り組み

ア 広告媒体によるPR活動（継続）

広報かわぐちへの掲載、国際興業バス車内案内放送、みんななかまバス時刻表内広告、市役所庁舎内デジタルサイネージ広告、川口駅構内電照看板広告、ゼンリン地図帳広告、ホームページ、シルバーかわぐち、シルバー通信、会員就業紹介小冊子

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ イベント参加によるPR活動（充実）

ごみまるまつり、たたら祭り、グリーンフェスティバル、川口市市産品フェア

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

ウ センターのイメージアップの取り組み（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

2 会員の増強

～センターへの所属意識の醸成～ 会員増強委員会

(1) 現状と課題

企業の定年延長や継続雇用制度の導入により、平成24年度をピークに会員数が減少している。今後も入会者数が右肩上がりで増える要素が乏しいことから、その対策が急務である。

令和2年度からは、会員の口コミによる新規会員紹介制度を導入して、会員が広告塔となってセンター事業のPRに努めるような取り組みを行っている。このような会員が主体となった取り組みは、今後も継続して定着を図っていく。

当センター会員における男女の比率は、おおよそ7:3になっている。川口市における60歳以上の人口の男女の比率と比較して、女性会員の人数が少ないことから、会員数を増やすためには、高齢者人口の割合が多い女性をターゲットにして取り組むことが有益であると考えられる。このようなことから、女性会員の増強策が今後の検討課題である。

一方では、入会者数を増やしても退会者を抑制しなければ、会員数の増強は見込めない。就業機会の提供の促進はもとより、会員相互の交流を深めることによって、センターへの所属意識の醸成に努め、会員の定着率を上げていかなければならない。

会員の増強面において、行政機関及び各種団体とは連携を図っているところではあるが、更なる連携強化に努めていきたいと考えている。



会員募集ポスター



市役所庁舎内デジタルサイネージ

(2) 取り組み

ア 新規会員紹介制度の推進（継続）

会員の口コミによる新規会員の紹介

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ 会員が主体となった入会説明会の実施（継続）

就業体験発表及び入会手続き

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

ウ 行政機関及び各種団体との連携強化（継続）

ポスター・パンフレットの配置、広報紙の掲載

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

エ 退会抑制を図るための取り組み（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

オ 女性に特化した増強対策（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施



川口駅構内電照看板

3 就業機会の拡大

～新たな活躍の機会への挑戦～ 就業機会創出委員会

(1) 現状と課題

これまで多くの会員が就業していたスーパー等の小売店では、統廃合や労働力の確保を若年層や中年層にシフトして直接雇用による採用へと変化してきている。このようなことから、センターへの発注は減少してきており、就業機会の拡大は期待できない状況となっている。

一方、集合住宅の共有部分の清掃業務は、需要が多い。これは、川口市の特徴として、集合住宅が増えていることが要因として挙げられ、また、これらの仕事は短時間である上、曜日や時間帯が指定されているものが多く、現役世代からは敬遠される傾向にある。このようなことから、センターにとっては、今後も引き続き受注が見込まれる職種のひとつである。

また、少子高齢社会を迎え、高齢世帯や単身世帯が増加していることから、簡易な家事援助（ゴミ出し、電球取り換えなど）のニーズが高まっている。地域社会のニーズに応えるための体制整備が求められている。

就業紹介におけるマッチング機能の強化のためには、会員が希望している職種の拡大を図ることはもとより、個別の就業相談を通して就業に対しての不安を解消できるような体制づくりが必要である。また、さまざまな研修会を企画して参加を促すことによって、新しいことへの挑戦のきっかけになるような取り組みも進めたい。



(2) 取り組み

ア 就業情報の提供（継続）

電話連絡、シルバー通信、ホームページ、掲示板などを活用した就業情報の提供

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ 就業開拓員の配置（充実）

市内企業等への訪問活動

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

ウ 就業機会創出委員会による就業開拓（充実）

市内企業等への訪問活動

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

エ 研修会の開催（充実）

植木剪定、清掃、家事援助、接遇、個人情報保護など就業に役立つ研修会の開催

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

オ 新しいことへの挑戦のきっかけとなるような研修会等の開催（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

カ 会員の最新情報が把握できるような体制整備（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

キ 新たな独自事業の創出（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

4 安全就業の徹底

～健康状態の把握と安全就業の定着～ 安全委員会

(1) 現状と課題

安全就業対策には注力しているところではあるが、残念ながら毎年、傷害事故や賠償事故が発生しているのが現状である。これらの事故の多くは、周囲への配慮不足や身体機能の低下によるものが原因として考えられる。

また、近年では就業と直接関連しない脳・心疾患の発症による事故も起きてきている。このようなことから、引き続き、日常における健康意識向上のため特定健康診査等の受診奨励のほか、作業前運動の励行に努めていく。

安全委員会では、いまだ終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症や熱中症への予防の注意喚起を行っていく。また、就業先巡回では現場状況の確認とともに、三脚、安全ヘルメット等の道具類の安全チェックも併せて行い、安全に対する意識を高める取り組みを継続していく。

飲酒運転根絶のため、道路交通法施行規則が改正されたことに伴い、事業主による運転前後のアルコールチェックが義務化となった。センターにおいても所有の車両にアルコールチェッカーを備え付けるとともに、ドライブレコーダーの活用による客観的な運転チェックと併せて安全運転意識の向上に努めていく。



(2) 取り組み

ア 安全委員会の活動強化（継続）

就業先巡回、安全就業ワッペンの着用推進、ヒヤリハット事例集の配付、作業前運動の励行、新型コロナウイルス感染予防・熱中症の注意喚起、安全委員研修

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ 安全研修会の開催（充実）

交通安全教室、除草刈払機、運転講習など事故の防止や対策を学ぶための研修会の開催

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

ウ ドライブレコーダーの活用（継続）

タイムリーかつピンポイントな注意喚起

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

エ 健康維持・増進に向けた対策（継続）

特定健康診査等の受診奨励、作業前運動の励行、健康づくり教室の開催

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続



5 適正就業の推進

～ワークシェアリングと就業形態の多様化への対応～ 適正就業推進委員会

(1) 現状と課題

当センターでは、同一個所における長期就業の是正によるワークシェアリングを推進して多くの会員に就業機会を提供することを目的に、平成20年4月に就業基準に関する要綱を制定した。

平成25年4月には、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により、企業の定年延長や継続雇用制度が導入されたことにより、会員及び新規入会者の平均年齢が右肩上がりで上昇を続けている。

このような状況下であることから、当センターでは、会員の構成年齢をもとに、令和3年4月に本要綱における対象年齢を75歳から78歳に改正を行った。

就業形態の多様化が進む中、センターにおける適正な就業を確保するため、請負・委任契約に適さない形態の就業は、労働者派遣事業による契約を締結するように努めている。

就業に対する価値観も多様になっているので、ローテーション就業の推進や複数就業の提案など様々な選択肢を増やすことによって、多様な働き方の実現を図っていきたい。

(2) 取り組み

ア 労働者派遣事業の推進（継続）

法令順守の徹底、安全衛生管理の充実

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ 就業基準に関する要綱の順守（継続）

ワークシェアリングとローテーション就業の推進

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

ウ 発注者訪問による定期的な検証（継続）

就業現場の状況把握による適正な就業の確保

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

6 ボランティア活動の推進

～会員同士の交流を通して地域に貢献～ 地域活動委員会

(1) 現状と課題

コロナ禍であることから、駅前クリーン作戦、クリーン&ウォーク in かわぐちなど、人が集まる活動は制限を受けていることから、思うようなボランティア活動が実施できていないのが現状である。会員の社会的孤立を防ぐとともに、会員同士の交流を深めるためのボランティア活動は、センターにとっては、非常に大切な活動であると認識しているので、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、適宜再開していきたい。

災害が発生した際には、一刻も早く日常を取り戻すための対策が重要であることから、地域活動委員会では、災害時ボランティア活動を企画し、会員への周知を図ったところである。しかし、この取り組みに賛同する会員が少なかったので引き続き、活動の趣旨、目的、活動内容等の周知を図り、災害発生時の備えに努めていきたい。

一方では、ウィズコロナの時代を見据えて、地域見守り活動のような、人が集まらなくても地域貢献できるような新たな活動を企画していきたい。

ボランティア活動の課題・問題点は、積極的な参加者が少ない、参加メンバーの固定化などにより活動のマンネリ化となるので、多くの会員が興味を持てる活動を提供していきたい。



(2) 取り組み

ア 安心・安全なまちづくりへの貢献（充実）

地域見守り活動の実施、災害時ボランティアの周知

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

イ 地域の環境美化の促進（充実）

駅前クリーン作戦の実施、クリーン&ウォーク in かわぐちの実施

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

ウ 次世代との交流（充実）

むかしあそび体験の実施

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
充実	充実	充実	充実	充実

エ 新たなボランティア活動の実施（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施



7 組織の強化

～センターの基本理念の実践～ 委員会委員長合同会議

(1) 現状と課題

センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を実践していくためには、会員一人ひとりがセンターの事業活動に賛同し、その実現に向けて取り組むことが不可欠である。

これまで当センターでは、理事会と各委員会の連携強化に努めるとともに、会員の事務局業務への登用にも積極的に行ってきた。さらに、委員会委員長合同会議を設置して委員会相互の横断的な連携により各委員会における役割を再認識できるような体制づくりに努めている。

当センターの本部事務所は、川口市産業文化会館の廃止に伴って、令和2年3月に川口市青木に移転し、その際、川口市をはじめ関係各所の支援・協力により、事務所棟、作業所棟、倉庫棟を備えた、センターの単独施設となった。現在、これらの施設を有効に活用すべく、以下に掲げる各種事業に取り組んでいるところである。（表具作業、内職作業、学習教室、英会話教室、リズム体操教室、やさしい太極拳教室、会員作品展）

引き続き、会員のこれまでの経験や知識、技能を活かして、生きがいを持てる事業に取り組むとともに、会員が気軽に集えるような施設となるべく体制を整えていきたい。



本部事務所



本部作業所



鳩ヶ谷事務所

(2) 取り組み

ア 理事会と各委員会との強化（継続）

理事会と各委員会との連携強化、委員会委員長合同会議の開催

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ 価値観の多様性の尊重とふれあいや生きがいづくりを推進（継続）

会員作品展の開催

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

ウ 施設を活用した各種事業の開催（継続）

表具作業、内職作業、学習教室、英会話教室、リズム体操教室、やさしい太極拳教室

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

エ 新たなクラブ活動やサークル活動の立ち上げについて（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

オ ふれあいルーム開設についての再検討（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

(注) ふれあいルーム開設については、本部事務所の移転前に検討していた経緯がある。

8 財政基盤の安定

～中長期的視点での収支相償の達成～ 総務財政委員会

(1) 現状と課題

国の補助金の算定基準は、会員数と就業延べ人員をもとにランク付けされ、それに基づき補助金額が算定されている。一方、市の補助金は、国のランクによる補助金額や補助対象となる経費などをもとに算定される。このようなことから、安定的な収入を得るには、会員数の増加と就業機会の拡大を図っていく必要がある。新型コロナウイルスがいまだ終息しない状況の中、先行き不透明ではあるが、柔軟かつ機動的に対応できるような体制づくりに努め、事業拡大を目指していく。

令和5年10月には消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度の導入が予定されており、全国シルバー人材センター事業協会や埼玉県シルバー人材センター連合のほか、あらゆる関係者からの情報収集に努めつつ、その対応について検討していかなければならない。

会員が課税事業者として登録して消費税の納税事務を行うことは、現実的には難しいことから、センターでは会員の配分金額における仕入税額控除ができず、配分金額における消費税額をセンターが納付することとなる。

よって、その財源の確保が急務となっている。さらに、国際情勢の悪化に起因して、原材料・エネルギー・物流コストなどが高騰して物価が上昇しており、センターの事業運営への影響が長引くことが予測されることから、経費の見直しを図りつつ、事務費率の改定に着手しなければならない。



(2) 取り組み

ア 事業環境の見通しを踏まえた効果的な積立（継続）

財政運営資金積立、特定費用準備資金、資産取得準備資金等

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

イ 就業機会のさらなる拡大（継続）

就業開拓員及び就業機会創出委員会による企業等への訪問活動、就業情報の提供によるマッチングの強化

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
継続	継続	継続	継続	継続

ウ インボイス制度の対応（新規）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

※継続；取り組みを継続して行っていく。

充実；コロナ禍で停滞した取り組みを回復させる。

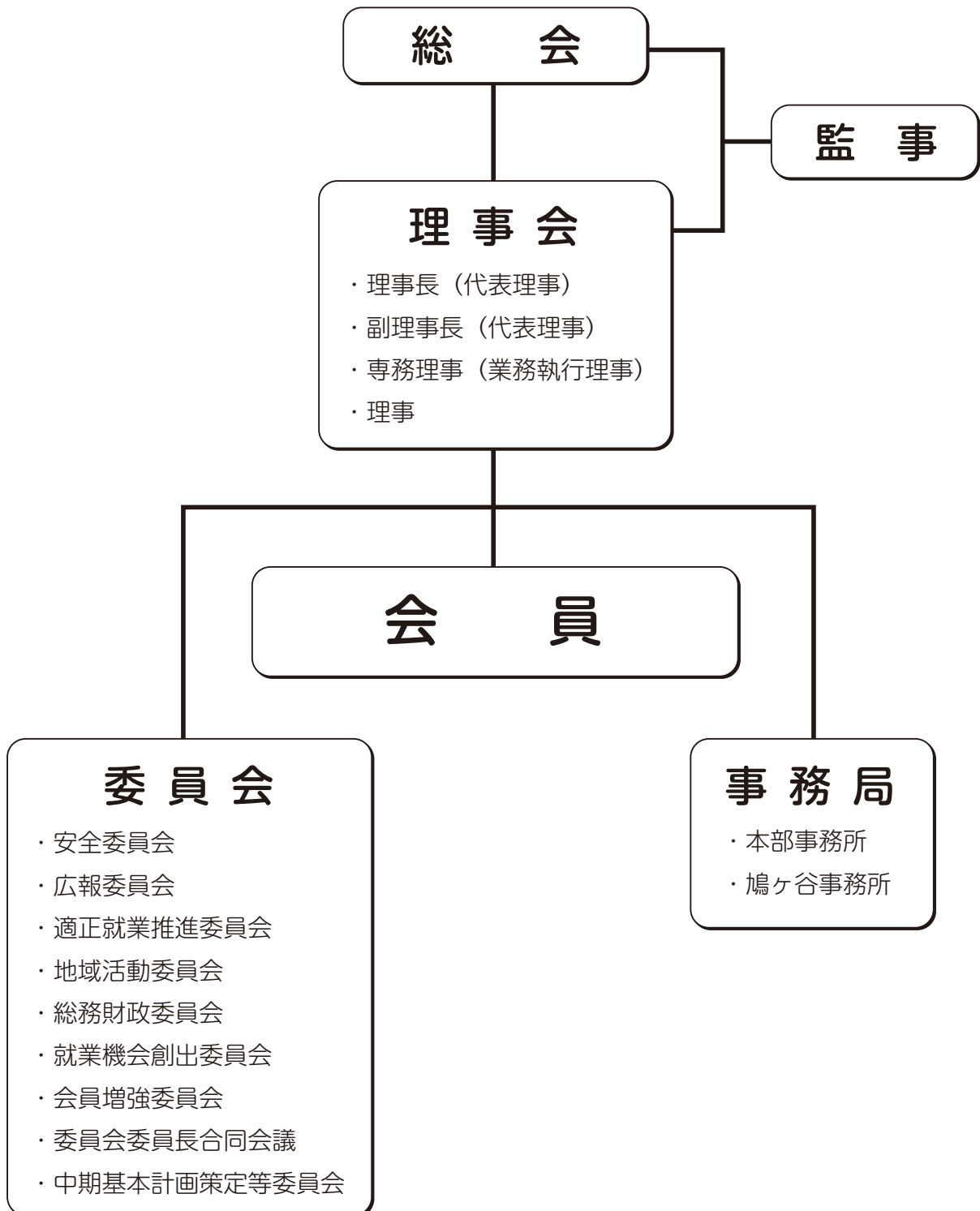
検討；新たな取り組みについて検討する。

実施；検討した新たな取り組みを実現させる。



参考資料

1 川口市シルバー人材センター組織図（令和4年度）



2 役員名簿

(順不同、敬称略)

役 職	氏 名
理 事 長	大久保 光 人
副 理 事 長	押 田 軍三郎
専 務 理 事	松 木 明 彦
理 事	宇田川 好 秀
//	奥ノ木 勇
//	久保寺 達 雄
//	小 鳶 法 子
//	齋 藤 裕 治
//	佐 藤 礼 子
//	鈴 木 茂 三
//	野 崎 豊
監 事	博 田 桂 子
//	齋 藤 廣

令和5年3月

3 中期基本計画策定等委員会設置要綱

(目的)

第1条 公益社団法人川口市シルバー人材センター（以下「センター」という。）に中期基本計画策定等委員会（以下「委員会」という。）を設置し、中期基本計画（以下「計画」という。）の策定並びに評価及び見直しをすることを目的とする。

(構成)

第2条 委員会は、センター役員及び会員10人以内の委員をもって構成する。

2 委員は、理事長が委嘱する。

3 委員会に委員長・副委員長を置き、委員の中から互選する。

(任期)

第3条 委員の任期は、委嘱の日から当該日の属する年度の末日までとする。

2 委員が欠けた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第4条 委員会は、次に掲げる事項について検討をする。

(1) 計画の策定並びに評価及び見直しに関すること。

(2) その他理事長が必要と認めること。

(委員会の開催)

第5条 委員会の開催は、委員長が招集し議長となる。

2 委員長が必要と認めた場合には、関係者を出席させることができる。

(報告)

第6条 委員長は、必要に応じて委員会の検討結果を理事長に報告するものとする。

(秘密の保持)

第7条 委員は、委員会を通して知りえた会員の個人情報等について、何人にも漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、センターの事務局があたるものとする。

(費用弁償)

第9条 会議に出席した場合は、別に定める基準により支払う。

(委任)

第10条 この要綱に定める事項のほか、委員会の運営について必要な事項は、理事長が別に定めるものとする。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和2年9月29日から施行する。

(現在 仕事をしていない方へお聞きします)

問 5 仕事をしていない理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ① 現在、センター以外で働いている | <input type="checkbox"/> ② 希望する仕事の募集が無い |
| <input type="checkbox"/> ③ 条件に合う仕事が無い | <input type="checkbox"/> ④ 健康上の理由 |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 就業場所までの距離が遠い | <input type="checkbox"/> ⑥ 就業場所までの距離が近い |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 趣味や旅行で忙しい | <input type="checkbox"/> ⑧ 家庭の事情 (家族の介護など) |
| <input type="checkbox"/> ⑨ 家族の反対があったから | <input type="checkbox"/> ⑩ その他 () |

(現在 仕事をしていない方へお聞きします)

問 6 あなたが就きたい職種を具体的にご記入ください。また、差し支えなければ氏名等をご記入ください。就業紹介の際に参考とさせていただきます。

職種：(記入例) 駐輪場整理、家事援助 (清掃・洗濯・調理)、倉庫内整理など

① 氏名：

② 就業可能な曜日に○をつけてください。

(月・火・水・木・金・土・日)

③ 就業が可能な時間をご記入ください。

(: ~ :)

(すべての方にお聞きします)

問 7 就業の際に活用できる (現在も使える) 資格や技術をお持ちでしたら、ご記入ください。今後の受注や就業紹介の際に参考とさせていただきます。

また、差し支えなければ氏名をご記入ください。(問6で氏名をご記入の方は除く)

職種：(記入例) ホームヘルパー 2 級、調理師、保育士、裁縫など

氏名：

(すべての方にお聞きします)

問 8 現在センターでは、仕事以外にも会員が参加可能な様々な活動を行っています。
興味のある活動はありますか。

- ① サークル活動 (ソフトテニス、ゴルフ、パソコン、カラオケ、ウクレレ合唱)
- ② ボランティア活動
(地域見守り活動、クリーン&ウォークinかわぐち、駅前クリーン作戦、
災害時ボランティア活動)
- ③ 各種研修会
(清掃、植木剪定、接遇マナー、実用書道、交通安全、介護補助、個人情報保護)
- ④ 独自事業の教室 (リズム体操教室、やさしい太極拳教室、英会話教室)
- ⑤ 特に無し

問 9 あなたが行っている健康維持の秘訣があれば教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください)

- ① 仕事をしている ② 運動を行っている ③ 食事に気を付けている
- ④ 睡眠をしっかり取る ⑤ 人との会話をする ⑥ 美容・衛生に気を遣う
- ⑦ 定期的に通院している ⑧ 趣味に時間を費やす

※具体的に教えてください

例：ウォーキング、ラジオ体操、水泳、映画や音楽鑑賞、スポーツ観戦など

問10 今後、センターに実施してほしいことはありますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

[イベント事業]

- ① 清掃ボランティア活動 ② 施設等の見学会 ③ 会員交流会 (親睦会)
- ④ 映画鑑賞会 ⑤ 落語・お笑い劇などの鑑賞会
- ⑥ 会員同士の親睦旅行 ⑦ その他 ()

[サークル活動]

- ① 卓球 ② サイクリング ③ ハイキング ④ ボーリング ⑤ 写真
- ⑥ 楽器演奏 ⑦ 絵画 ⑧ 手芸 ⑨ 俳句・短歌 ⑩ 生け花
- ⑪ 健康麻雀 ⑫ 囲碁・将棋 ⑬ その他 ()

問11 シルバー人材センターに対して期待していることについてご記入ください。

お客様アンケート調査

問1 お客様について教えてください。

- ① 民間企業 ② 家庭（年齢 歳代） ③ 公共機関 ④ 公社・公団

問2 当センターを知ったきっかけを教えてください。（複数回答可）

- ① 市の広報紙 ② センターの広報紙、ポスター、チラシ
 ③ センターのホームページ ④ センターの会員
 ⑤ 同業、他社からの紹介 ⑥ 他のシルバー人材センター
 ⑦ その他（ ）

問3 当センターへ発注していただいている、又は発注したことがある職種について教えてください。（あてはまるものをすべて選んでください）

- ① 屋内軽作業 ② 屋外軽作業 ③ 屋内清掃 ④ 屋外清掃 ⑤ 商品管理
 ⑥ 一般事務 ⑦ 建物・公園管理 ⑧ 駐車・駐輪場管理 ⑨ 植木剪定
 ⑩ 除草 ⑪ 家事援助サービス ⑫ 襖・障子・網戸張替 ⑬ 毛筆・筆耕
 ⑭ その他（ ）

問4 当センターをご利用になった理由を教えてください。（複数回答可）

- ① 公共的な団体で信頼できるから ② 料金が安いから ③ 仕事が丁寧だから
 ④ 頼みやすくて身近な存在だから ⑤ 知人、友人からの紹介
 ⑥ 地域の高齢者の就業促進に役立つから ⑦ 以前から依頼しているから
 ⑧ 求人を出す程の仕事ではないから ⑨ センターの評判が良かったから
 ⑩ その他（ ）

問5 センターに仕事を依頼されて、その満足度について教えてください。質問項目ごとに1つ選んでください。

①仕事の出来栄はいかがでしたか

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
----	------	----	------	----

②会員の対応はいかがでしたか

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
----	------	----	------	----

③仕事の早さはいかがでしたか

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
----	------	----	------	----

④注文してから作業にかかるまでの期間はいかがでしたか

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
----	------	----	------	----

⑤作業料金はいかがでしたか

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
----	------	----	------	----

5 第4次中期基本計画策定等委員会委員



後列左から 大嶋委員、谷地委員、松木委員、野々山委員、埜瀬委員
 前列左から 齋藤委員、佐藤委員、奥ノ木委員長、博田副委員長、久保寺委員

(順不同、敬称略)

役 職	氏 名
委 員 長	奥ノ木 勇
副 委 員 長	博 田 桂 子
委 員	野々山 倍 弘
//	久保寺 達 雄
//	齋 藤 裕 治
//	埜 瀬 統
//	谷 地 和 雄
//	佐 藤 礼 子
//	大 嶋 廣 子
//	松 木 明 彦

6 第4次中期基本計画書の策定経過

回次	日時	検討内容
第1回	令和4年8月26日(金) 午後3時～	<ol style="list-style-type: none"> 1 中期基本計画策定等委員会設置要綱について 2 委員長、副委員長の互選について 3 今後のスケジュールについて 4 第4次中期基本計画の策定について 5 設立40周年記念会員・発注者アンケート調査結果について
第2回	令和4年9月29日(木) 午後3時～	<ol style="list-style-type: none"> 1 第3次中期基本計画の検証について 2 第4次中期基本計画におけるスローガンについて
第3回	令和4年10月27日(木) 午後3時～	<ol style="list-style-type: none"> 1 第4次中期基本計画のスローガンについて 2 第4次中期基本計画の策定について
第4回	令和4年11月29日(火) 午後3時～	<ol style="list-style-type: none"> 1 第4次中期基本計画の策定について
第5回	令和4年12月20日(火) 午後3時～	<ol style="list-style-type: none"> 1 第4次中期基本計画の策定について

シルバー人材センター基本理念

- **自主** 会員が自主的に事業に参加します。
- **自立** 会員が主体となってセンターを育てます。
- **共働** 会員が共に働きます。
- **共助** 会員が共に助け合います。



発行 令和5年3月
編集 公益社団法人 川口市シルバー人材センター
川口市青木 4-24-34
TEL 048-256-1150
URL <https://webc.sjc.ne.jp/kawaguchi/>

